

報告書

ENTER25 eTourism conference での口頭発表

2025年2月にポーランドのヴロツワフにて開催された「ENTER25 eTourism conference」に参加した。本会議は「International Federation for IT and Travel & Tourism」が主催する観光情報学に関する国際会議であり、今回で32回目を迎えた。テーマは「eTourism Towards 2060(旅行, 観光, ホスピタリティへの ICT 革命)」であった。世界各国の観光関連分野の研究者が集まり、活発な議論が展開された。

本会議において、「A Generative AI-Driven Tourism Information Dissemination Support System with Direct Posting to SNS」というタイトルで口頭発表を行った。発表を行った研究は、生成 AI による技術革新がもたらす観光分野への応用可能性と実践的活用に焦点を当てたものである。

具体的な研究内容は、浜名湖かんざんじ温泉観光協会を対象として、簡易的に記述された観光情報を、生成 AI を活用して SNS 向けの文章に変換するシステムを開発した。本システム導入以前は、SNS に関する知識の不足や人材不足により SNS による情報発信ができていなかったが、本システム導入後は、発信情報の準備から SNS 投稿までのプロセスを 20 分程度で行えるようになった。このことから、本システムは観光協会等の観光業界における SNS での観光情報発信への有効な支援策となり得ることを示した。

発表の質疑応答では、単なる質問と回答のやりとりにとどまらず、本発表が契機となり、会場の研究者間で活発なディスカッションが展開された。本会議は多様な研究者が参加しているため、これまで参加してきた国内の学会とは異なる視点からのフィードバックを得ることができた貴重な機会となった。発表後も多くの参加者と交流を深めることができた。

初めての海外で行われた国際会議の参加であったため、研究発表以外の面でも様々な懸念があった。しかし、実際はポーランド語が公用語であるものの、多くの場面で英語によるコミュニケーションが可能であり、セルフレジ等の設備も英語対応していたため、予想よりもスムーズに滞在することができた。

今回の ENTER25 への参加は、研究発表の機会としてだけでなく、異文化理解と国際交流の重要性を体感する貴重な経験となった。この経験を今後の研究活動に活かし、グローバルな視点から観光情報学の発展に貢献していきたい。



経営情報イノベーション研究科

経営情報イノベーション専攻 博士後期課程 3 年

鍋田真一